

2020 年度活動状況報告

一般社団法人
石川県サッカー協会

■種別・委員会

1. トップリーグ（Jリーグ）[理事：西川圭史]

開幕直後、コロナ感染が急拡大しリーグは中断。6月下旬に再開にこぎつけるも、短い日程で全試合消化をしなければならないため、選手の負担はかなり大きい。前半は若手の成長もあり順調に勝ち点を積み上げたが、2巡目に入り、アジャストしてきた相手を上回るパフォーマンスが出せていない。集客面では、コロナ対策でコスト、労力を使う一方、イベントもできず、またお客様の不安心理もなかなか解消されず、さらに平日開催も多く、非常に苦しい結果となっている。大きな赤字は避けられないと思うが、今年は試合が出来たことを良しとし、この経験を踏まえ、来期はコロナであっても成長する目標で取り組んでいきたい。

2. トップリーグ（Fリーグ）[理事：鈴木修平]

Fリーグは9月から1月までの変則日程となり、「ヴィンセドール白山」は11月15日までにホームゲームを終え、以降はすべてアウェイでの日程となる。

3. 第1種(天皇杯、県選手権) [委員長：坂口公介]

新型コロナウイルス感染症の影響より、第49回石川県サッカー選手権大会、第100回天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会の開催の変更、出場チームの制限、1回戦の地域同士の対戦など特別に配慮した。又、両大会ともに石川県開催は無観客で実施した。（チーム関係者のみの観戦）

○第49回石川県サッカー選手権大会 決勝 金沢市民サッカー場

8月29日（土）北陸大学サッカー部 0 - 1（0 - 0）金沢星稜大学サッカー部

※金沢星稜大学サッカー部は2年ぶり3回目の優勝

○天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 1回戦 金沢市民サッカー場

9月16日（水）金沢星稜大学サッカー部 1 - 2（1 - 0）富山新庄クラブ（富山県代表）

4. 第1種(社会人) [理事/委員長：坂口公介]

新型コロナウイルス感染症拡大の影響より相次ぐ大会が中止となった。

第27回全国クラブチームサッカー選手権大会石川県大会

同、北信越大会（福井県）

第56回全国社会人サッカー選手権石川県大会

同、北信越大会（金沢市）、全国大会（三重県）

日本スポーツマスターズ北信越予選会、本大会（サッカー競技）

北信越国体、国民体育大会（サッカー競技）
自治体職員サッカー大会北信越大会（金沢市）
第 55 回石川県フットボールリーグ
以上の大会が中止となった。

北信越フットボールリーグは 7 月より再開となったが H&A 方式での開催を行うことは出来なかった。
1 部の FC 北陸は 2 勝 5 敗の成績で 6 位、2 部の北陸大学フューチャーズは 4 勝 3 敗で 3 位の成績だった。（7/19～9/27）

シーズン終了後、2 部の北陸大学フューチャーズが来季の北信越フットボールリーグの不参加を表明した。

8 月から県フットボールリーグの代替大会「石川県社会人サッカーリーグトーナメント 2020」を開催した。
1 部：SRKomatsu 2 部 A：能美 SC 2 部 B：Blue Lagoon 3 部 A：金沢学院大学 FC
3 部 B：FC.Stier がそれぞれ優勝した。（8/23～11/15 開催）

第 43 回北信越サッカー県リーグ決勝大会に県 1 部リーグ代表 SRKomatsu が初出場し、2 勝 1 敗で 1 位となり来年度、北信越フットボールリーグ 2 部に昇格する。（10/4～11/8 開催）

第 27 回全国クラブチームサッカー選手権大会（茨城県）で開催、前年度準優勝のテイヘンズ FC が北信越代表となり出場したが 1 回戦で北海道代表の旭蹴会（きょくしゅうかい）に 1 - 2 で惜敗した。（10/24～27 開催）

5. 第 1 種(学連) [理事：富田充宏]

1. 第 44 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会
コロナ禍のため、中止
2. 第 48 回 北信越大学サッカーリーグ
1 部； 2 位：北陸大学， 5 位金沢大学， 7 位金沢星稜大学
2 部； 現在，リーグ中
3. 2020 年度 インディペンデンスリーグ〔北陸地区〕
11/22 北陸地区代表決定戦 金沢星稜大学 VS 北陸大学
11/28 北信越代表決定戦

6. 第 2 種 [理事：山上茂信]

例年収益事業であった高校選手権は、コロナウイルス感染拡大防止のため、一般客の観戦を不可とした。しかし、熱い戦いが随所で繰り広げられ、決勝は第 1 シードの鵬学園と第 2 シード星稜が対決した。終始前からハイプレスをかけてボールを支配した星稜が 5 - 0 で勝利し、2 年ぶりに全国大会への出場を決めた。

7. クラブユース [理事：西野哲之]

夏のクラブユース U18 選手権が冬に変更して実施されることとなり、北信越地域は J 下部チームのみ参加して予選を戦った。残念ながらツエーゲン金沢は代表決定戦で敗退した。

[U15]

夏のクラブユース U15 選手権は中止となったが、全国すべて 3 年生のために地域大会までは実施することとなり、9 月に県大会、10 月に北信越大会が行われた。(北信越 U15 リーグに参戦しているチームは抜いての実施となった)

その分、新人大会が 9 月に実施できなくなり、11-12 月に県大会、来春 3 月に北信越大会を行う予定となっている。

8. 第 3 種 [委員長：西野哲之]

[3 種]

県リーグ戦は 7 月中旬からの実施となったが、1 回戦総当たりで実施することが出来た。ただし、U13 はリーグの実施を取りやめ 10 月後半から短期の大会形式で実施した。

北信越リーグは 8 月末から東西に分けて実施し、順位決定戦、さらに高円宮杯北信越大会を実施、全国大会への代表チームを選出した。今年度、県勢の全国出場はならなかった。

[中体連]

全中が中止となったことにより、3 年生の年代の大会は 7 月に市町単位で代替大会を実施して終了した。9 月以降の新人大会に関しては予定通りに県大会まで実施することが出来た。

9. 第 4 種 [理事/委員長：古西広]

2 月に県内で最初に新型コロナウイルス感染症の罹患者が確認されてから、大会はもちろんのこと各チームの活動も停止した。6 月になり小康状態になったことから各チームの練習を再開し、子供たちの体力回復に努め、リーグ戦開始は 7 月になった。4～8 月に開催予定をしていた、県大会はすべて中止とし、感染症拡大対策を行った。秋の大会をようやく開催する運びとなり、感染症対策を十分にすることや日程を短縮する措置を取りながらの大会運営で開催をした。

・NHK 金沢放送局長杯第 4 3 回石川県少年サッカー新人大会

優勝：フットボールクラブ湖北ジュニア

・ハトマーク杯第 1 1 回石川県 8 人制サッカー U-10 大会

優勝：ツエーゲン金沢 U-12

・JFA 第 44 回全日本 U-12 サッカー選手権大会石川県大会

優勝：ツエーゲン金沢 U-12

10. 女子 [委員長：星野貴彦]

コロナウイルス感染症の影響で、大会・フェスティバル等、スケジュールの大幅な変更を余儀なくされた。

しかしながら、緊急事態宣言終了後は、各委員、所属チームの協力のおかげで、各種県大会や、本県開催

の北信越大会を無事終えることができた。“できる範囲で”を念頭に、県リーグや育成事業を行っている。

今後のコロナウィルス感染症の影響については、まだまだ不透明ことが多いが、一日でも早く、サッカーの日常が戻ることを願っている。

11. シニア [委員長：森下豊、理事：西川透]

コロナ禍の中で始まった今年度は、6月下旬に活動を開始し、県内においてはO-40・50・60の各リーグはそれぞれ5試合程度を行い、順位を決めない交流大会として実施した。O-40・50・60選手権の各大会ではO-50・60の2カテゴリーを実施できた。全国大会の予選となる北信越大会はすべて中止となり、抽選でO-40全国大会の出場権を得た小松エルダーズは、予選リーグを3敗で終えた。また、60歳以上の高齢者の楽しみでもあるねんりんピックも中止となった。

シニア普及事業においては、「高校対抗OB交流大会」、「シニアフェスティバル」、「いで湯カップ」、「シニアフットサル大会」は中止とした。

連盟の運営において、今年ほど平常のありがたさを痛感した年はなかった。

12. フットサル [理事/委員長：長島寛人]

今年度はいくつかの日本協会主催の全国大会中止のため2つの県大会を取りやめた。8月下旬から県内大会を再開したが、コロナ感染拡大の影響からか出場チーム数が減少しており、県フットサルリーグでは試合数を減らして開催している。

8月上旬からスタートした北信越フットサルリーグでは、男子は「グランドルフ金沢」は1部リーグ2位で終了、1月まで行われる女子リーグでは「ヴィンセドール白山ラーソ」も上位進出が見込まれ、健闘している。

13. グラスルーツ [委員長：辰巳義和]

今年はコロナ禍の影響でJFAフットボールデー等のフェスティバルを中止したが、昨年計画していた障がい者サッカーフェスティバル(後援:石川県)を開催。一般の方の体験はできなかったが、ブラインドサッカー、電動車椅子サッカー、ソーシャルフットボール、知的障がい者サッカーの関係者が一同に会し、他の障がい者サッカーの活動を知る有意義な時間であった。

14. 技術(育成) [理事/委員長：中野勝彦]

U12トレセン：12月5日(土)6日(日)の北信越トレセンU12後期(前期は中止)に向けて、9月末より県の活動を再開した。

U14トレセン：10月14日(土)に北信越トレセンU14とGKキャンプが和倉で開催された。

コロナの関係で、1日開催北陸3県の選手を招集した。そのために、9月末より県トレセンを再開した。

ナショナルトレセンU14は地域開催となり、11月21(土)～23日(日)まで和倉で開催された。

U14トレセン女子：11月21日(土)和倉で開催(北陸3県の選手招集)された。

U16トレセンリーグ女子：11月14日(土)に新潟グランセナで開催された。県内女子に関しても、9月から県の活動を再開した。

15. 技術(指導普及) [理事/委員長：中野勝彦]

9月より、D級指導者養成講習会（3月に実施できなかった事業）を皮切りに、9月以降に開催予定の事業は、現在予定通り実施している。（コロナ対策感染拡大対策を講じ、最大20名で開催）
11月21日（土）～C級がスタート、11月28日（土）、29（日）D級開催の予定である。

16. 技術(強化) [理事/委員長：中野勝彦]

今年度、国体が開催されなかったこともあり、活動を行っていない。
来年度に向けて、11月29日（日）、12月6日（日）の北信越トレセンリーグU15（北信越トレセンリーグの組み合わせを決定）が富山で開催される。
少年男子監督辻田氏継続、成年男子監督宮崎氏継続で、成年女子、少年女子（2022年栃木国体より正式種目）の監督は技術委員会強化部で人選中である。

17. 審判 [理事/委員長：勝二国博]

- ・審判研修会（web）競技規則の改正について（7/11）
- ・石川県審判指導者トレセン（8/1.2 10/17.18 11/21.22）
- ・S2級INS昇級審査（11/1）
- ・S2級昇級審査（10/17、11/29）
- ・3級育成会（一般、2種、3種にて実施）
- ・4級新規講習会（webにて複数回実施）

18. 医学

天皇杯 JFA 第 100 回全日本サッカー選手権大会 1 回戦に医事派遣
2020 年石川県サッカー選手権大会に医事派遣
第 24 回北信越クラブユースサッカー選手権（U-18）大会に医事派遣
第 53 回全国高等専門学校サッカー選手権予選北信越大会に医事派遣
第 99 回全国高等学校サッカー選手権大会 石川県大会に医事派遣
第 1 回障がい者サッカーフェスティバルに医事派遣
中部ナショナルトレセン U-12 に医事派遣
第 99 回第 99 回全国高等学校選手権大会出場校メディカルチェック集計

■事務局 [常務理事：北野真一]

事業の中止・延期、無観客試合、感染予防対策、リモート会議、書面決議などを経験し対応に努めた。

新型コロナウイルス感染症に係る対応については

- ・選手登録料免除・返金とした。約 75%のチームに対して登録料返金を実施した。
- ・賛助会員会費を免除とし、受理した会費は次年度への繰越とした。
- ・4～5 月の間、事務局員交代で在宅勤務を実施した。
- ・総会は人数を制限して開催した。
- ・理事会を書面審議およびリモートで開催した。
- ・常務理事連絡会をリモートで開催した。
- ・情報発信 1 月より県協会の公式 facebook を開設し、情報発信を開始した。